

# Yamakado News Letter

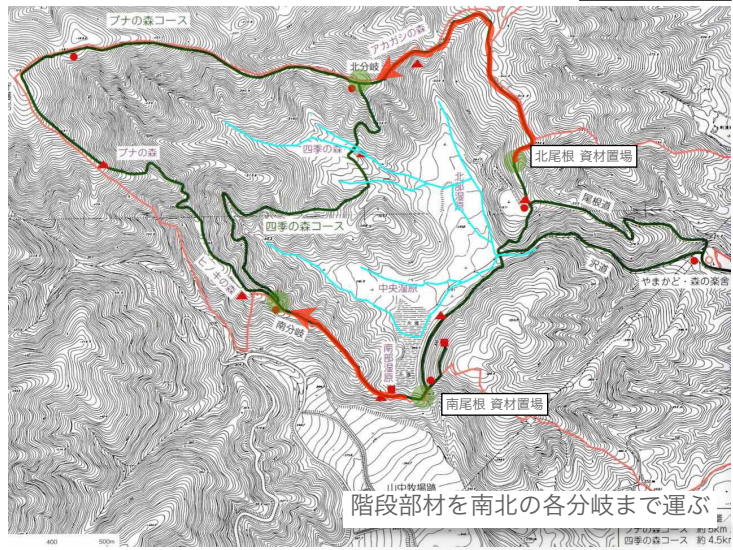


## 交換用の階段部材を運ぶ

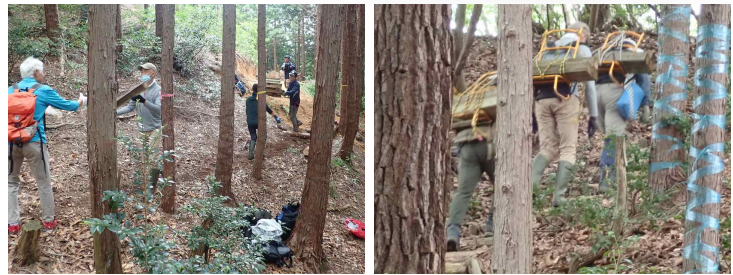
コースには入山者の安全や洗掘による土砂流出防止の観点から、階段が設置されています。その数約1,000段。毎年3～4千人の利用がありますから、階段の部材も徐々に劣化してきます。破損した階段は間伐材などを利用し、交換しています。しかし、生木を使っていることもあり、場所によっては数年しかもちません。手間の割には耐久性がないのが難点です。そこで、支援頂いている企業様の資金を活用し、防腐剤を加圧注入処理したヒノキ材を調達することにしました。今年度に発注したのは10cm角の80cm材を500本です。

これらをまず、北尾根は途中まで開通している作業道を使い、また南尾根は隣りの牧場跡林道から車両で搬入し、地図に示した各資材置場に200本ずつ運びました。後は歩荷で南北の各分岐まで運び、必要に応じて更に交換現場まで運ぶという段取りです。

今後の予定としては、とりえず各分岐まで部材を運び上げたいと考えています。体力に自信のある人は、お手伝い頂けると助かります。背負子は楽舎に5つありますので、必要に応じてお貸しできます。



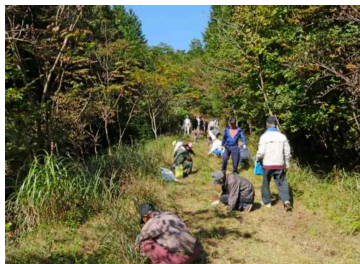
階段部材を南北の各分岐まで運ぶ



北尾根 途中までは作業道を使い車両で運搬し、後は歩荷 10月3日



南尾根 林道破損のため途中で積み替え。資材置場からは歩荷 21日、26日



西浅井老人会の保全作業 10/20  
Photo 藤本H

## 地域の皆さんの保全作業

10月20日、西浅井老人会の会員33名の方々に、保全作業をして頂きました。参加者の2/3が初来訪とのことで作業前に湿原をご案内。皆さんには繁茂している外来種メリケンカルカヤの除去作業をして頂きました。メリケンカルカヤは刈り払うと残った根元が分蘖して、却って増えてしまいます。ですから、簡単に機械ではいきません。コツコツと手で引き抜く作業をして頂き、お陰様で一区画きれいに除去完了して頂きました。



永原小6年生 山門学習と保全作業 10/26

10月26日は永原小6年生18名が山門学習で来訪。山の中での様々な学びとともに、山から薪（風倒木を処理して小割りにしたもの）の運び下ろしや、老朽化した食害防止テープの撤去などの保全作業をしてくれました。ちなみに同じ場所で、最初に防獣テープ巻きをしてくれたのは2014年の永原小6年生です。



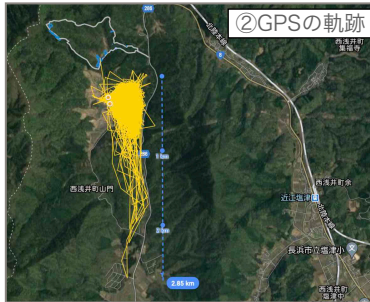
# マキコから垣間見えるシカの暮らし

①7月6日撮影

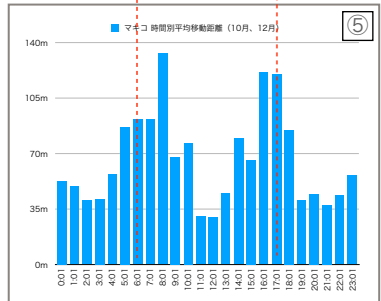
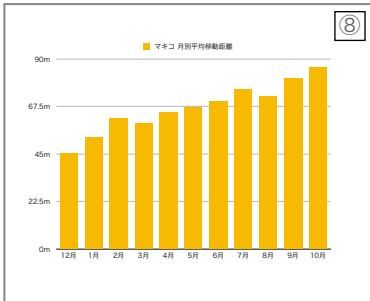
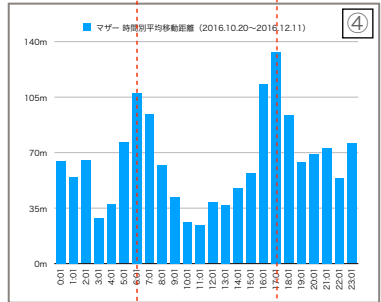
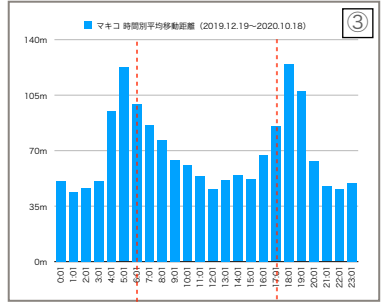


シカにGPS首輪発信器を付けた調査を継続中です。昨年12月から調査をしている個体は3頭目で、マキコと名付けた捕獲時1歳半のメスです。首輪には1時間ごとの位置情報が記録され、そのデータを2ヶ月に1回程度、遠隔操作で回収します。画像①は回収したデータを参考に、マキコが頻繁に通る場所にセンサーカメラを設置して撮影しました。

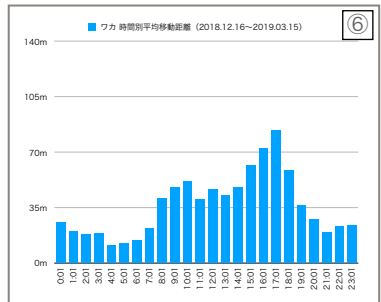
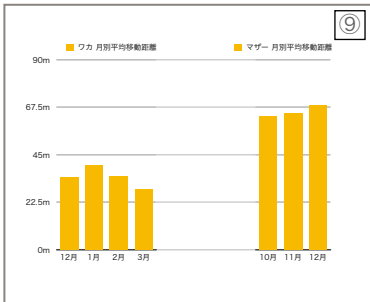
回収したデータは2種類あり、gpx形式のファイルをGoogleMapで開くと、画像②のような全移動経路が示されます。ちなみに、この②によって、マキコの行動範囲が最大で3km程度、通常の行動では半径500m程度であることがわかります。もう一つcsv形式のファイルはエクセルなどを使い、容易にデータを並び替えたり、一部だけを抽出したりすることができます。そのデータからマキコの時間別の平均移動距離を算出し、グラフに示したのが画像③です。日没前後と日出前後に多く移動していることがわかります。これは安全に隠れ過ごす日中の場所と、夜間の餌場とを日々移動しているためと考えます。



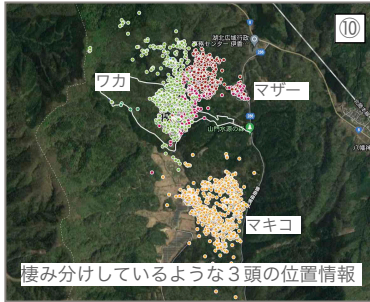
②GPSの軌跡



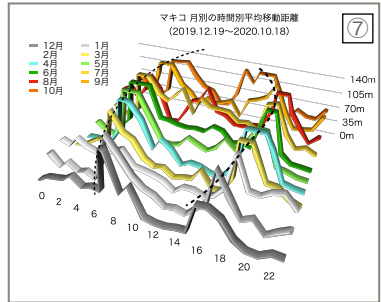
画像④は首輪を付けた1頭目のデータを同じように時間別の平均移動距離を算出し、グラフ化したものです。この1頭目は捕獲時に子連れだったのでマザーと命名しています。放獣後約2ヶ月で再捕獲されてしまったので、データは晩秋から初冬にかけての平均値です。画像③、④、⑤を縦に並べ、赤破線を上から掛けていますが、移動距離の多い時間のピークがずれていることがわかります。



画像⑥はマキコの今年10月と昨年12月のデータを抜き出して、時間別平均移動距離をグラフ化したものです。これだとマザーのグラフとピークが似てきます。ちなみに画像⑥は2頭目の、捕獲時に推定0.5歳で、ワカちゃんと言ったシカの数値グラフです。これは親と逸れてしまい、シカの生態的な習慣がまだ身にならなかったのではと想像します。残念ながら、ワカちゃんは翌春に湿原で死んでいるのを見つけました。



⑩棲み分けしているような3頭の位置情報



さて、マキコの時間別平均移動距離を、年平均から更に分解して月毎の平均をグラフ化したものを並べて表示しました。それが画像⑦です。黒破線は補助線です

が、やはり移動距離が多くなるピークは、日出日没の時間帯と同調しているように思われます。

また興味深いのが、マキコの月別の移動平均距離です。画像⑧にグラフで示していますが、だんだん移動距離が増えています。成長と共に活動範囲が広がっているのでしょうか。しかし、画像⑨のようにマザーはマキコほどは動いておらず、移動量の多さはマキコの個性なのかもしれません。継続して調査をしたいのですが、来年初めにはバッテリーが切れる予定。残念！